

女性技術者が 現場安全パト

佐藤渡辺、鎌田社長ら
役員との意見交換も

佐藤渡辺は12、13の両日、東京都内で女性技術者による現場安全パトロールと同社役員との意見交換会を実施した。写真（佐藤渡辺提供）。12日の安全パトロールでは江東区で施工している「令和5年度青海埠頭ヤード改修工事（第1期）」（東京港埠頭発注）の現場を視察。13日に港区の本社



で行った役員との意見交換では「仕事について思うことや困っていることなど」「会社への要望」「女性技術者が入社しやすく定着しやすい環境とは」などをテーマに、鎌田修治社長や金井義治専務らと議論した。

安全パトロールは女技術者同士の懇親を深めるとともに、女性ならではの視点から現場の安全や作業環境、社員の働き方改革について意見してもらったことを目的に実施した。

役員との意見交換では女性技術者から自身の抱えている悩みや職場で課題と感じていること、今後の人材確保に向けさまざまなアイデアが寄せられた。フレックスタイム制の導入や社内外の女性社員同士が意見交換する機会の確保を求める意見も上がった。鎌田社長は「皆さんの声が佐藤渡辺の繁栄に必ずつながると信じている」と述べた。

